

令和4年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和4年12月21日（水曜日） 午後1時43分から4時1分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	山川治美
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課課長 中條智則
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第46号

議題及び決定事項等

議案第46号 日高市スポーツ推進委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 通級指導教室や特別支援学級、不登校の子どもなど全ての児童生徒に分け隔てなく寄り添いのある教育をお願いしたい。

(委員) 寄り添うことについては、医療業界でも見直されている。医療の細分化やICT化が進み患者に寄り添い、触れ合うことが減ってきた。本来の医師の仕事は「手当て」で。相手の目を見て寄り添うことは大切なことである。

- (委員) 新型コロナウイルス感染症について、学校は感染症対策をよく行っている。国がウィズコロナ政策に方針転換する中、学校ではゼロコロナを続けている。しっかりと換気を行えば給食の黙食を止めてもよいと思う。子どもたちの心の成長にも関係してくることである。
- (委員) 市販の抗原検査キットについては、唾液で検査するものは信頼性が低く、鼻の粘膜で検査するものは採取が難しく正しく検査ができないことがある。正確に検査されていない状態で陰性が出て、実際には陽性の人が出歩き感染がさらに拡大していく恐はある。
- (委員) 教員の欠員状況について、小学校5人、中学校1人とあるがどうということか。
- (学校教育課長) 次年度の現段階での不足見込である。今後、来年度に向けて不足を解消していく。少子化により通常学級は減少傾向であるが、特別支援学級は増加傾向にある。
- (委員) 発達障がいの研究が進み、今まで該当していなかったものが障がいとなり、対象の児童生徒が増加したのだと思う。だからと言って何でも特別支援学級にすることはいかがなものかと思う。そういう子どもが学級にいることによって、良くも悪くも心が育まれると思う。インクルーシブ教育について検討してもらいたい。
- (委員) 市議会議員からの一般質問について、小麦や牛乳の価格高騰による学校給食への影響に関する質問で、影響がないと答えているが、現状、市場価格が上昇しているが、どうということか。
- (教育部長) 年間契約を行っているため今年度中の価格の変動はない。現在の市場価格を考慮すると来年度は上昇する見込みである。
- (委員) 公民館使用料の減免についての質問の主旨は、従前のように広く減免してほしいということだと思うが、税の公平性等を考慮すれば負担はやむを得ないと思う。
- (委員) 新高萩公民館について、使い勝手は大変良いと思う。あえて言えば南側に車両が進入できないこと、一部の廊下が少し狭いことが気になったが、全体的によくできている。
- (委員) 児童生徒の心のアセスメントについての一般質問について、組織的に対応という答弁をしているが、組織的に行うと時間がかかる。普段から多くの目で子どもを見ていくことが大切である。また、ゲートキーパー養成研修への参加など教員への負担が増すばかりである。
- (委員) 不登校の特例校とはどういったものか。
- (学校教育課長) 不登校の子どもの専門校のようなもので、子どものニーズに合わせて教育課程を編成するといったきめ細かな対応をする学校である。
- (委員) 中学校に行かなかった子どもが、高校は通ったという例もある。不登校の理由は様々で難しい問題であると思う。不登校理由を分析することもある程度必要ではないかと思う。
- (委員) AED について、電極を体に張ることによって機械が判断してくれる。もしもに備えて、小学生にも使用方法を教えてもよいと思う。
- (委員) 大学入試センター試験から共通テストになり、内容が大幅に変わった。到達度を見るものから、能力を見る内容になった。それに追随して、高校入試も変わってくるはずである。難易度の上昇に対応するため、例えば、英語でいえば、英検を

中学1年生からチャレンジし合格の喜びを味わうことによって、さらに学習に励むといった好循環していける環境を整えることも一つの方法であると思う。チャレンジできる環境はどんどん提供してもらいたい。

(委員) 図書館運営事務のプロポーザル選定委員会とはどういった内容か。

(生涯学習課長) 図書館の窓口業務等について、価格で事業者を選定する入札ではなく、提案内容、価格、実施体制など総合的に審査を行うプロポーザル方式で選定するものである。

(委員) 中学校部活動の地域移行については、大変難しい問題であると思う。部活動は今まで中学校教育の一翼を担ってきた部分がある。民間に全て任せて教員が関わらなくなってよいのか、また、費用や実施方法など様々な問題点があるので、よく検討してほしい。

(教育長) 教育長同士でも賛否様々な意見が出ている。

(委員) 一般の退職者が増加する見込みとなっているが、どういった理由なのか。

(学校教育課長) 婚姻などによる生活環境の変化によるものが多い。

(委員) AED の設置場所について、社会体育などで学校施設を利用することがあると思うが、場所がよくわからないので明示しておいたほうがよい。

(委員) 一番目に付きやすい場所に設置するのが基本である。また、出入口などに案内も設置したほうがよい。

(委員) 学校農園で収穫した野菜を使って給食を調理しているという記事を見た。子どもたちにとって食育は大切である。地域の農家と連携して取り組めることがあればよいと思う。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 46 号 非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 1 月定例会：1 月 25 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

○ 2 月定例会：2 月 27 日（月曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承